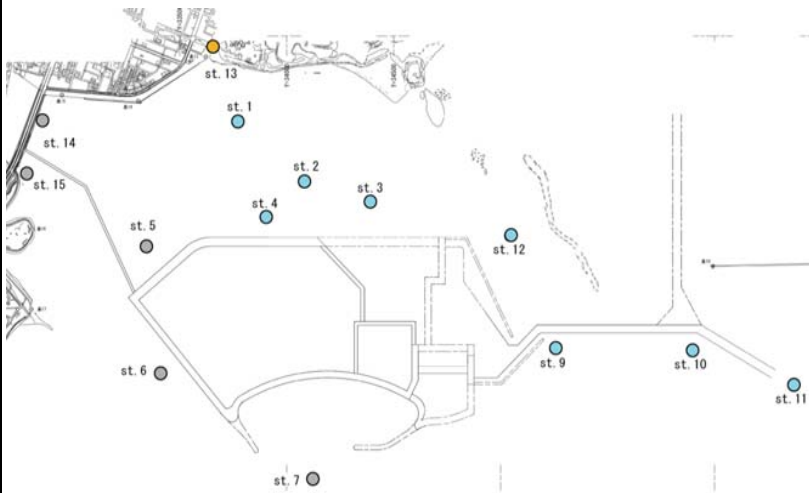


第9回(12月期モニタリング／フィードバック 月例会議)

対象期間:平成30年12月1日～平成30年12月31日 那覇港湾・空港整備事務所

		異常確認の有無	工事との関連性	対策の検討
目視観察結果	クビレミドロ監視地点及び、工事の濁り監視地点の全てで、監視基準を満足していた。 クビレミドロ監視地点での最大値は12月5日と12月11日のst.1で4.8mg/Lであった。 工事の濁り監視地点での最大値は12月11日のst.4で4.3mg/Lであった。			
	水質調査結果	クビレミドロ監視地点基準値【st.1～3:SS=7mg/L】	全ての地点で、監視基準(SS=7mg/L)を満足していた。 平均値は3.0mg/L、1.7～4.8mg/Lの範囲で推移していた。	調査期間中は、県道20号線(泡瀬工区)の鋼管杭打設、鋼管杭引抜、鉄筋組立、コンクリート打設、埋戻し、養浜砂投入、汚濁防止膜設置、SCP、浚渫等が行われていたが、施工箇所からの濁りの拡散は確認されなかった。 国施工の工事は新港地区にて航路泊地(～13.0m)浚渫工事に伴い、汚濁防止膜設置、航路浚渫、揚土が行われていたが、施工箇所からの濁りの拡散は確認されなかった。
		工事の濁り監視地点基準値【st.4～12:SS=11mg/L】	全ての地点で、監視基準(SS=11mg/L)を満足していた。 平均値は1.8mg/L、0.5～4.3mg/Lの範囲で推移していた。	
		流入部負荷量の調査地点	SS=11mg/Lを超えた回数: st.13=20回(29計測中) SS=50mg/Lを超えた回数: st.13=1回(29計測中) 平均値は21.2mg/L、4.3～96.7mg/Lの範囲で推移していた。	
		流入水路部調査地点(st.13)は監視地点ではないため、基準値は設定されていない。	12/26の96.7mg/Lが最大値であった。 なお、降水量は前々日0.5mm、前日1.0mm、当日76.5mmであり、降雨による濁水流入もみられた	
基準超過時の気象概況	*全ての地点で、監視基準を満足していた。		【調査位置図】 	
基準超過時の工事状況	全ての地点で、監視基準を満足していた。			







第9回(12月期モニタリング／フィードバック 月例会議)

対象期間:平成30年12月1日～平成30年12月31日 沖縄県調査分

		異常確認の有無	工事との関連性	対策の検討
目視観察結果	<p>調査地点の最高値は12月11日(PM)のst.5で観測された6.5mg/Lであった。 期間中は、全ての調査地点において工事監視基準値を満足していた。</p>			
	水質調査結果	<p>工事の濁り監視地点基準値【st.5～8:SS=11mg/L】</p> <p>期間中は、全地点で工事監視基準値を満足した。 平均値は2.0mg/L、&lt;1.0～6.5mg/Lの範囲で推移していた。</p>	特になし	
		<p>流入部負荷量の調査地点</p> <p>SS=11mg/Lを超えた回数: st.14=29計測中22回 st.15=29計測中20回</p> <p>SS=50mg/Lを超えた回数: st.14=29計測中2回 st.15=29計測中1回</p>	特になし	
		<p>流入水路部調査地点(st.14、st.15)は監視地点ではないため、基準値は設定されていない。</p> <p>st.14:12/10(PM 上げ潮時)87mg/Lが最大値であった。 なお、降水量は前々日が0.5mm、前日が9.5mm、当日が45.5mmであった。降雨による濁水流入はみられなかった。 st.15:12/26(PM 下げ潮-干潮-上げ潮時)52mg/Lが最大値であった。 なお、降水量は前々日が0.5mm、前日が1.0mm、当日が76.5mmであった。降雨による濁水流入がみられた。</p>		
基準超過時の気象概況	<p>基準超過時の気象概況は以下の通りであった。</p> <p>全ての調査地点において工事監視基準値を満足していた。</p>		<p>【調査位置図】</p>	
基準超過時の工事状況	<p>基準超過時の工事内容は以下の通りであった。</p> <p>全ての調査地点において工事監視基準値を満足していた。</p>			



